

平成25年5月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.23K㎡)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	4,918	8,394	4,209	4,185	65	74
2 千 石	3,366	6,635	3,359	3,276	47	48
3 内 山	4,852	7,109	3,821	3,288	54	65
4 大 和	3,171	6,599	3,286	3,313	61	121
5 上 野	7,336	15,677	7,633	8,044	97	150
6 高 見	6,311	12,445	6,010	6,435	47	68
7 春 岡	6,229	10,272	5,455	4,817	62	143
8 田 代	11,088	21,265	10,166	11,099	29	19
9 東 山	9,644	18,741	9,152	9,589	78	160
10 見 付	4,311	8,288	4,166	4,122	99	139
11 星ヶ丘	3,372	6,654	2,976	3,678	7	13
12 自由ヶ丘	3,484	7,704	3,499	4,205	95	239
13 富士見台	6,362	15,682	7,240	8,442	5	8
14 宮 根	3,676	8,400	3,985	4,415	13	24
15 千代田橋	3,590	8,742	4,096	4,646	△ 7	△ 23
千 種 区 計	81,710	162,607	79,053	83,554	752	1,248
H24.5.1	81,686	161,445	78,486	82,959	598	908
対 前 年 比	24	1,162	567	595	154	340
名 古 屋 市	1,030,734	2,269,049	1,117,366	1,151,683	5,066	6,873
愛 知 県 (H25.4.1)	2,972,829	7,415,747	3,702,887	3,712,860	5,403	△ 7,392

前月中の増減内訳	自然動態			社会動態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
	104	120	△ 16	2,622	1,358	1,264

【参考】

国勢調査千種区人口				これまでの最大人口	
昭和50年	168,861	平成7年	148,847	173,598 (昭和50年2月1日)	
昭和55年	166,837	平成12年	148,537		
昭和60年	163,762	平成17年	153,132		
平成2年	156,478	平成22年	160,015	これまでの最少人口	
				146,727 (平成11年4月1日)	

- 注1) 世帯数と人口は、平成22年国勢調査結果を基礎として、毎月の住民基本台帳人口と外国人登録人口の異動数を加減しています。
- 注2) 社会動態および対前月増減には、平成24年7月の法改正に伴う外国人人口の取扱変更による数値変動が含まれており、昨年との連続性はありません。

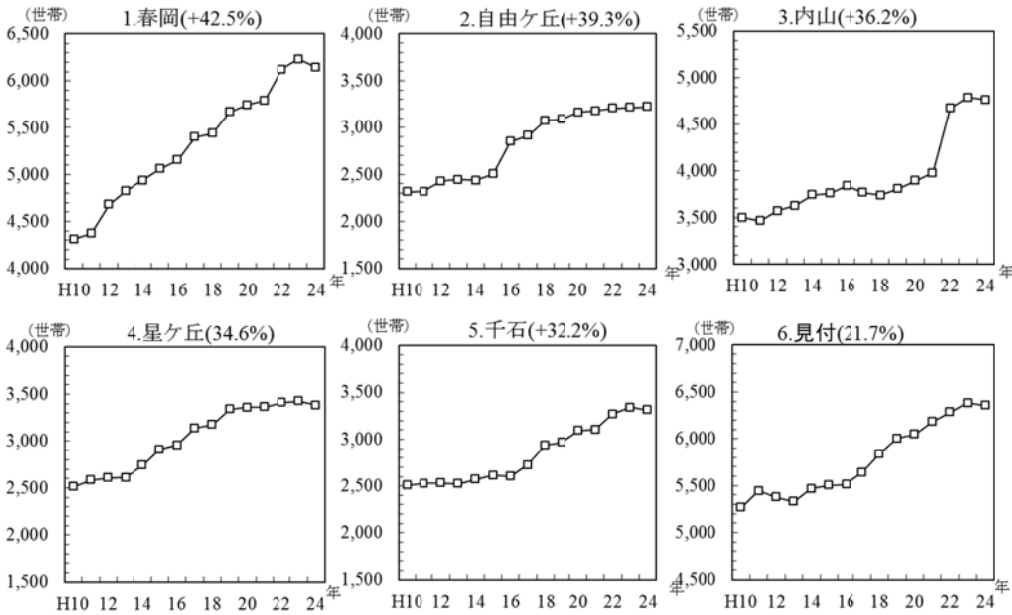
統計なごやweb版 <http://www.city.nagoya.jp/shisei/category/67-5-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

千種区の世帯数と人口増減の概況

平成 25 年 5 月 1 日現在の千種区の世帯数は 752 世帯増の 81,710 世帯となっており、人口は 1,248 人増の 162,607 人となっています。今回は千種区の世帯数と人口増減の内訳を学区単位で見していきます。

平成 24 年 10 月現在の千種区の学区別世帯数は、多い方から田代学区（11,142 世帯）、東山学区（9,554 世帯）、上野学区（7,264 世帯）となっています。世帯増加率（対平成 10 年 10 月比）

図1: 千種区の学区別世帯増加率上位6学区（対平成10年比） 各年10月1日現在

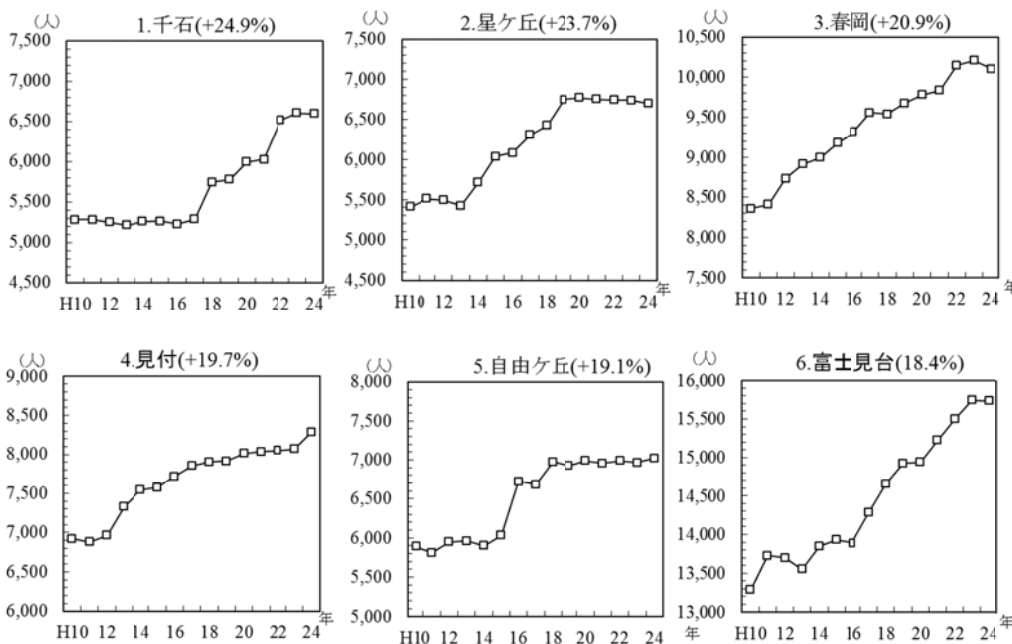


月比) を見てみると、千種区全体では 20.3%で、名古屋市全体 (16.9%) を上回っています。

千種区の学区別世帯増加率を大きい順に並べると、春岡、自由ヶ丘、内山、星ヶ丘、千石、見付学区の順になります(図1)。

平成 24 年 10 月現在の千種区の学区別人口数は、多い方から田代学区（21,442 人）、東山学区（18,583 人）、富士見台学区（15,737 人）となっています。人口増加率（対平成 10 年 10 月比）

図2: 千種区の学区別人口増加率上位6学区（対平成10年比） 各年10月1日現在



月比) を見てみると、千種区全体では 9.4%で、名古屋市全体 (4.9%) を上回っています。

千種区の学区別人口増加率を大きい順に並べると、千石、星ヶ丘、春岡、見付、自由ヶ丘、富士見台学区の順になります(図2)。